

令和7年度 第4回 学校運営協議会

【懐山おくない体験】



【未来授業】



【放課後学習室】



令和8年2月12日(木)
浜松市立清竜中学校

令和7年度 第4回 学校運営協議会

【全体会Ⅰ】(14:00~16:00) <多目的ルーム>

- ①日程説明
- ②会長あいさつ 藤井会長
- ③校長あいさつ 袴田校長
- ④議長の選出(出席委員の中から互選、名簿順)
- ⑤前回会議録確認 CSディレクターより

【授業参観】14:20~14:40

学年	教科	授業者	場所
1年生	総合的な学習の時間	宮分諒、古橋寛澄	3階教室
2年生	総合的な学習の時間	福田雄介、三谷優介	4階教室
3年生	総合的な学習の時間	菅沼幹保、矢部柚奈	2階教室

【全体会Ⅱ】14:40~

⑥熟議

- (1)清竜中学校教育課程学校関係者評価について(熟議→承認) 教務より
- (2)令和7年度清竜中学校運営方針について (熟議→承認) 校長より
- (3)学校運営協議会の自己評価について (承認) 会長より
- (4)夢育やらまいか事業報告 (承認) 教頭より

⑦連絡

- 放課後学習室、校則の見直しについて
- 令和7年度第1回学校運営協議会予定 令和8年5月13日(水)13:00~

※内容については別紙参照

令和8年度 学校経営方針（案）

<浜松市立清竜中学校>



【校 訓】 和をもって 賢く 遅しく



4 中学校の統合 H17.4.1 ~本年度 開校 22 年目 校章
4 小学校（熊、上阿多古、下阿多古、二俣、その他）からの入学
⇒ お互いの心が通い合い、協力すること・・・統合の礎
（※ スクールバス通学 名、タクシー 1 名）

【学校教育目標】 温かくかかわり 遅しく前進する（生徒の育成）



互いに磨きあい、たくましく前進する生徒の育成（仮）

- 清竜中学校での教育活動を通して、**より良い人間関係を構築して心を磨き**、気持ちのよいあいさつ、感謝の心、思いやりの心を大切にできる大人へと成長して欲しい。
- 自分の将来に向けて、**他者との関わりの中でお互い磨き合い**、目標とする学力や職業観、自分を向上させる前向きな姿勢や考え方を身に付けて欲しい。

【目指す生徒像】

- <徳育：和をもって> **関わりあい、認めあい、磨きあえる生徒**
- <知育：賢く> **粘り強く課題に挑戦する生徒**
- <体育：遅し> **丈夫な体と心を鍛え、チーム清竜で前進する生徒**

【学校経営構想】

〔経営の理念〕生徒と教職員の良さが輝き、笑顔と温かさのある学校づくり
（一人一人を大切にする学校風土・人間性と基本的生活習慣の徹底）

〔経営の基盤〕

- 第4次浜松市教育総合計画（はままつ人づくり未来プラン）
- 学習指導要領
- 生徒の実態（一人一人の教育的ニーズ）の把握**
- 地域・保護者の願い
- 発達支援教育の理念
- 浜松市教員育成指標を**意識した教職員の自己改革**

〔経営の重点〕

- 1 学力保障・・・目標と指導と評価の一体化を図り、教師の授業力向上を目指すことで子供の資質・能力を育てる。
（学ぶ楽しさが実感できる授業、教育のDX）

☆「主体的・対話的で深い学び」校内研修との連携

- (1) 各教科での先を見通した単元構想・単元計画の作成
- (2) **学ぶ楽しさが実感できる授業（わかる・できる・もっと学びたい）**
 - ①基本的学習習慣の徹底（家庭学習の充実・タブレットを利用した家庭学習）
 - ②ICTを効果的に活用した授業改善（浜松市指定教育研究成果の充実・発展）

- ③個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
- ④指導方法・教材教具・資料等の工夫（**学びをゆだねる場面の設定** 等）
- ⑤個に応じた学習相談の**充実**（外国人指導・取り出し指導の拡充・放課後学習室・**定期テスト前・夏季休業中** 等）
- ⑥ **教師相互の授業参観や先進校視察による研修の充実**

2 生活・健康教育・・・学校における生徒・職員の心身のケアに努める。健康の保持増進を図るために、疾病予防や命の大切さ、性に関する理解を育み、健康で逞しい生徒を育てる。

- ☆生徒指導は、前始末、スピード感、誠意、組織で対応
報告・連絡・相談 一人一人の存在感、居場所づくりの確保
- (1) 子供に寄り添い、温かくかかわる生徒指導
 - ① いじめ防止基本方針に則り、「いじめ見逃しゼロ、積極的認知、組織で対応」を心掛ける。いじめが起きにくい 許さない学校風土づくり
 - ② 個別に支援が必要な生徒へのきめ細かな指導
不登校生徒（きよたつルーム）、外国人指導（まなびの教室） など
 - ③ SC や SSW、医療・福祉との継続した協力体制の構築
 - (2) 継続した感染症対応や体調管理の徹底 自分の身体は自分で守る。
 - (3) 毎月の健康教育の日を有効に活用し、成長期の適正な食事や運動・睡眠の向上を図る。

3 キャリア教育の推進・・・全教育活動を通して自己を見つめ、より良い集団づくりに取り組み、自分の役割を果たし、自分らしい生き方を追究していく能力を育てる。

- 本年度も生徒の実態から「人間関係形成・社会形成能力」と「課題対応能力」を育むことに重点を置く。
- (1) 人間関係形成・社会形成能力【かかわる力】
多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを伝えることができる。自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力。
 - (2) 課題対応能力【挑戦する力】
自らが行うべきことに意欲的に取り組む上で必要な力、よりよい生き方をしていくために従来の考え方や方法にとらわれずに物事を前に進めていく力。生徒会を中心とした生徒主体の活動を取り入れる。
 - (3) 特別活動、総合学習、各教科で【見つめる力】・【つなげる力】を意識させていく。【地域とのつながりを意識した福祉教育・職場体験学習・伝統芸能等】

4 教育環境整備・・・生徒を取り巻く生活環境を整えていく。

- (1) 自分の力を伸ばし、発揮できる環境をつくる。
 - ① 整理整頓された校内と安全で衛生的な施設
 - ② 必要な情報や豊かな感性を引き出す掲示物づくり
- (2) かかわり合い、認め合い、伸ばし合える環境づくりを心掛ける。
 - ① **心温まる言葉遣いや態度の育成**
 - ② **互いのよさを認め、高めあえる信頼関係の構築**
- (3) 事故や災害等に対する防止・防災対策を整備する。
 - ① 学校・家庭・地域・行政の連携による危機管理体制の構築

- ②人命を最優先した対応マニュアルの整備
- ③地域と共に自助、共助の大切さを学ぶ防災教育(講座や演習)
- ④学校の危機管理(校内外の事故・健康管理・自然災害・不審者侵入等)
- ⑤安全管理の徹底(施設設備点検・安全指導 等)

5 社会に開かれた学校づくり・・・教育活動の成果や情報を積極的に地域に発信するとともに、積極的に地域と関わり、地域の人材や文化等を活用する。

- (1) 学校運営協議会【コミュニティスクール】、PTA、健全育成会において持続可能な取組を心掛け、社会に開かれた教育課程を目指す。
- (2) さくら連絡網、ホームページ、学校・各学年だより等を活用し、生徒の諸活動や行事に取り組む姿を積極的に知らせていく。
- (3) 地域の豊かな人材の活用(学習支援・環境整備・キャリア講座 等)

6 チーム力強化・・・全職員が経営参画意識を高く持ち、目標の共有化と役割の明確化を進め、目標達成に向かって協調・協働する。

職場の心理的安全性を図る。(ストレスをためない、風通しの良い職員室)
組織の中で自分の考えや気持ちを誰に対しても安心して発言できる状態のこと。

- (1) 「チーム清竜中」として、全職員が同じ目標に向かい、やりがいを感じるような学校づくりを意識し合う。様々な立場の職員(S C、S S W、非常勤・支援員・シルバー用務員)がいる。合い言葉は、「清竜中の生徒のために」
- (2) 学校が一つになって前進・進化する機運を盛り上げる。
各学期：「①自己目標」・「②自己挑戦」・「③自己実現」
活動ステージ：「①基本」・「②団結」・「③協調」・「④克己」・「⑤自主」・「⑥感謝」
6ステージを教師が理解し、生徒にも意識づけさせる。

7 働き方改革・・・国の改革方策に則った浜松市教育委員会が示す方針を受け、必要な業務に集中できる学校指導体制を構築し、教育の質の向上を図る。

- (1) 学校の経営方針や重点目標を明確化する。
- (2) 継続的に行われてきている学校行事等や教職員の業務の効率化を図り、教育計画全体において相乗効果のある業務の軽減化を推進する。
- (3) 教育効果を高める効果的な組織を構築し、校内分掌のバランス化を図る。
教育課程外の活動について、教育課程内の教育活動の充実を優先した評価と見直しを行い、学校体制でスリム化を図る。
- (4) 持続可能な部活動運営のための段階的な地域移行への転換を進める。
9月以降の活動を見据えた準備(運営方法・参加ルールづくり)

(様式1)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(清竜中)学校運営協議会長

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 重点項目を中心に、「一步前進」というキーワードをもとに、学校の進もうとしている方向について熟議することができた。
- 学力保障のため「放課後学習室」を設置したいという説明があり、学校の課題を理解することができた。
- 部活動の地域移行については課題が多く、熟議が必要である。
- 意見を発言することができたがまとめるところまではできなかった。

＜評価項目2＞ 学校運営に資する活動について熟議を進めることができたか。

- 生徒主体の活動で、生徒の発表を受けて共に話し合えたことが新鮮な体験で、新しい時代を感じた。
- 「休日の部活動の地域展開」「放課後学習室」「校則の見直し」に関する内容でグループに分かれて熟議を進められて充実したものとなった。
- 学校行事や授業参観を通して、教師と生徒の関係を見させてもらい、自分の立場で熟議を進めることができた。
- 部活動の地域展開の動向を知り、解決するべき課題について熟議することができた。
- 放課後学習室では生徒の考えも取り入れながら進めていくことも必要ではないか。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- 「学校だより」「学校ホームページ」を通して地域住民に知らせることができた。
- 自身のボランティア団体で、関連する情報を発信することができた。
- 十分な情報発信とまでは言えないが、学校の取り組みや現状を話題にすることが以前に比べて格段に増えた。
- 学校の取組や現状について周囲の人たちと話をする機会が増えた。
- 初めての参加でどのようなことを発信していけばよいか分からなかった。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

- 部活動地域移行、地元の自然や文化を愛する活動の充実について熟議を進める。
- 生徒の学力保障のためにどのようなことができるか熟議を進める。

(様式1)

令和7年5月17日

浜松市立清竜中学校
夢をはぐくむ学校づくり推進協議会
代表 藤井 信男 様

浜松市立清竜中学校運営協議会
会長 藤井 信男

夢育やらまいか事業に対する意見書

令和7年5月16日に開催した学校運営協議会において、下記の意見を議決しましたので報告します。

記

1 学校運営の基本方針を具現化するための意見

- ① 生徒の情操を豊かにするために、文化発表会をより充実していくべきである。
⇒ 文化発表会にてプロの演奏家を招き、普段触れることの少ない音楽に触れる機会を設定する。